



羽中だより



目標 Keyword

令和6年6月6日号

安心感

寛容力

主体性

安心して学べる学級を築き、主体的に行動ができる羽中生

羽幌中学校体育大会の目的

主体的に考え、行動する生徒の育成

「協力」「責任」「全力」

確実な振り返りを！

時折ひんやりとした風が吹く6月1日でしたが、絵に描いたような真っ青な晴れ空の下、第78回体育大会を実施することができ、大変嬉しく思います。雨が降ってしまうと「今年来た人が雨オトコなのか？」な～んて冷やかされるのを恐れていた(?)こともあり、なおさら当日の晴天に安心感でいっぱいになっています。

事故もなく無事に体育大会を終えることができたのが最も喜ばしいことなのですが、教育活動としては、大会前に発行した本日よりでも触れたとおり、目的が達成できたか否かを重視しています。

体育大会の目的達成とは…

- ◆それぞれのチカラに応じて楽しく運動(種目)に取り組めたかどうか？
- ◆子どもたちの主体的な姿は見られたかどうか？
- ◆協力や責任、全力で取り組んでいる姿は見られたかどうか？

そして…

■子ども一人一人に学校目標のチカラは身に付いたかどうか？

…ということを学校でこれから振り返っていきたいと考えております。

事前をお願いしていた保護者の皆さんからの評価アンケートも参考にさせていただきます。

さて、閉会式での校長講評でも少し触れましたが、前日の総練習にて「できる限り先生方のチカラを借りずに、朝グラウンドに集合してから下校するまで、プログラムをしっかりと確認しな

がら自分で考えて、自分から行動してみよう！」という話をしました。

総練習では、初めて取り組む競技や、部門や担当の仕事など、自分から動くことよりは、指示を受けながら確認する場面が多くありました。総練習は当日のために確認する場でもあるので当然なのですが、当日は主体的に動いてほしいという願いでした。

私のかつての経験ですが、主体性の育成を重視していなかった体育大会では、先生方が動き回り、大きな声で指示を出し…、という時代もありました。

当日、予定時間が前倒しになるくらい、子どもたちがテキパキと動いていました。「並ぶよ～！」「集まれー！」など、先生方ではなく、3年生が中心になって、声を発し、自分から動き、この体育大会を運営していました。各種目も部門活動も滞りなく進行し、閉会式後の後片付けの時には、3年生のみならず、1年生も2年生もよく気付き、よく動き、終了予定時刻の前には全員が下校することができました。本当に素晴らしかったです。

このことについて、「なぜ、よくできたのか」という視点でしっかりと振り返りを行い、次の活動につなげてもらいたいと考えています。

体育大会でもう一つ。

仲間に対して「ドンマイ！」「大丈夫だー！」という声がグラウンドのあちこちでたくさん飛び交っていました。ホントにたくさん！ウチの学校には優しい子がたくさんいるんだなあ…と改めて実感しました。

保護者の皆さんには「tetoru」にて体育大会の評価アンケートをお願いしております。回答はスマホなどを使って Googleforms でお気軽にご返信いただけます。〆切は今月7日(金)としておりますので、ご協力をお願いいたします。次年度の体育大会や今後の教育活動の改善のため活用させていただきます。

晴天の下 実行委員会のスムーズな進行と
委員長の立派な挨拶から体育大会がスタート！



Tiger & Dragon

体育大会
ふおとぐらふ



JUMP
JUMP
JUMP



大迫力！
五色綱引き



大会で最も過酷な競技に
800m&1500m
チャレンジした勇者たち



頂いた新しい
優勝旗とカップ
ありがとうございました！



大会のラストは
大声援に包まれた
全校リレー——！



RUN
RUN
RUN



学校の先生、見習い中 教育実習生が来ています！

5月27日から教育実習でお世話になっております、西山偉琉です。教科は保健体育を担当させていただきます。生徒と関わったり、先生方から様々なことを教えていただいたりしながら、多くの学びを得られるように頑張ります。短い期間ですがよろしくをお願いします。

立命館大学
スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
4回生

にしやま たける
西山偉琉
羽中卒業：2018年3月
実習期間 5/27～6/14



学校ホームページを公開しています！

<https://haboro-jhs.edumap.jp>



ぜひご覧ください

